

平成20年度施政方針

〈一部抜粋〉

平成20年度における当市の財政状況を見ますと、個人住民税においては、平成19年度のような税制改正に伴う増収は見込めず、ほぼ横ばいになるものと見込んでおります。また、法人市民税においては、平成19年度より減収となることを見込まれております。

さらに、地方交付税におきましても平成19年度より減少となる見込みから、依然として市税収入をはじめとする歳入の大幅な増収は見込めない状況でございます。一方歳出におきましては、公債費が減少するものの、扶助費やその他の経常的経費などが増加し、大幅な財源不足が生じております。また、今後を見据えますと、医療制度改革、都市基盤整備、公共施設整備など、新たな財政需要が今までの以上に見込まれており、これらすべてを予算化する財源を捻出することは極めて厳しい状況でございます。以上のことから、歳入の確保に努めるとともに、引き続き、歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、限られた財源を効率的に予算配分するよう

努めてまいります。

近年、わが国の人口が減少時代を迎えている中でも、当市の人口は増加傾向にあります。これは、市民の皆様と一緒にまちづくりを進めてきた成果であると固く信じております。私は、「市民主役のまちづくり」をモ

ットーに、市政の主役は市民であるとの思いから、市民の皆様には市政に対して御意見を賜り、また積極的に市政に参加いただきながら、様々な施策に取り組んでまいりました。公共サービスの担い手としての行政の役割は変革期にございますが、今後とも行政は、持続可能な財政基盤を確立して、その責任を果たしていかなければなりません。

これまで当市は、多くの先人の御努力によって今日まで成長してまいりましたが、行政課題も山積しております。しかしながら、私は、こうした厳しい状況を的確に認識し、まちの将来像をしっかりと見据えて、一つひとつの課題を検証し、着実に対応していくことが、何よりも大切であると考えております。

6万4千人余りの市民の暮らしを守り、育むことが当市の責務であり、自ら先頭に立って全力で取り組んでまいっている所存でございます。

市長の施政方針に対する

代表質問

定例会開会日に市長より平成20年度の施政方針が報告され、翌日、それに対しての各会派の代表質問を行いました。以下に、その内容の一部を掲載いたします。なお、質問、答弁とも質問者が要約したものです。

※施政方針は市のホームページ(<http://www.yoshikawa.saitama.jp>)の「市長のページ」をご覧ください。

公明党

吉川市議員団

五十嵐恵千子



問 後期基本計画重点テーマの着実な推進を。①実施予算額は。②計画の進行管理は。③食の主な取り組みは。④新駅は、森の駅構想で他市とのちがいを。

答 市長 ①合計約2億9319万7千円。②経営戦略会議で検証、2次評価や見直しで推進。③個人の栄養指導充実や学校給食等を活用した食育指導の充実。④森をイメージできる、公園と一体になった駅前空間が整備されるよう、23年度の開業を目指し協議して行く。

問 ケーブルテレビ放送推進を。
答 市長 活用を考え、放送事業者の情報把握に努めていく。
問 特定保育事業の実施を。
答 市長 ニーズを見込み研究。
問 企業における、障害者雇用「意識改革セミナー」の開催を。

問 市長 必要と考え、取り組む。
問 土・日利用可の(仮)総合福祉健康センターの整備促進を。
答 市長 ニーズ・利便性・建設コストや手法等総合的に研究。
問 道庭緑地内にドッグランを。
答 市長 諸課題クリア後に推進。
問 きよみ野・吉川団地圏内に防犯活動拠点の整備を。
答 市長 県へは要望しているが、犯罪の発生状況を踏まえ検討。
問 不登校児童生徒が通う「宇宙」へ臨床心理士の配置を。
答 市長 連携を図り対応する。

日本共産党

吉川市議員団

佐藤 清治



◇都市計画税導入の再検討を◇
問 導入にむけ作業を進めていくと述べているが、いつ頃までに終えるのか。
答 市民からは多くの反対の声が聞かれる。実施を再検討すべき